

最近の管内経済概況

(2026年4月の経済指標を中心として)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動き。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱含んでいる。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、有効求人倍率は2か月連続で前月を下回った。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※2026年3月発表から雇用の判断はせず、有効求人倍率の前年との比較について記載。

※2026年6月発表から雇用動向は、就業地別・季節調整値、有効求人倍率は前月との比較に変更。

2026年6月19日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2026年6月現在)

発表月	2026年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月との判断比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	弱含み	弱含み	弱い動き(↘)	弱い動き	弱い動き	弱い動き	
個人消費	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	緩やかに改善している(↗)	緩やかに改善している	
観光	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	
公共工事	減少した	減少した	増加した(↗)	減少した(↘)	増加した(↗)	増加した	
住宅建設	弱まっている	弱まっている	持ち直しの兆しがみられる(↗)	持ち直しの兆しがみられる	弱含んでいる(↘)	弱含んでいる	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	減少している(↘)	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	有効求人倍率は6か月連続で前年を下回った	有効求人倍率は7か月連続で前年を下回った	有効求人倍率は8か月連続で前年を下回った	有効求人倍率は2か月連続で前月を下回った	
企業倒産	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

※2026年3月発表から雇用の判断はせず、有効求人倍率の前年との比較について記載。

※2026年6月発表から雇用動向は、就業地別・季節調整値、有効求人倍率は前月との比較に変更。

上方修正 据え置き 下方修正

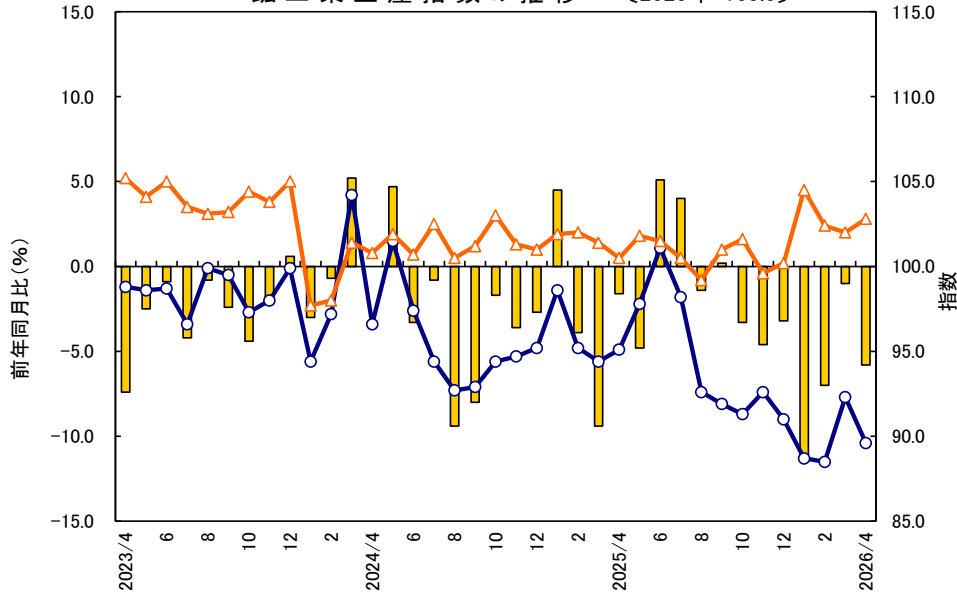
生産活動 ～ 弱い動き ～

4月の鉱工業生産は、前月比▲2.9%と2か月ぶりに低下した。前年同月比は▲5.8%と7か月連続で低下した。低下業種は、金属製品工業など4業種となった。上昇業種は、化学・石油石炭製品工業など9業種となった。

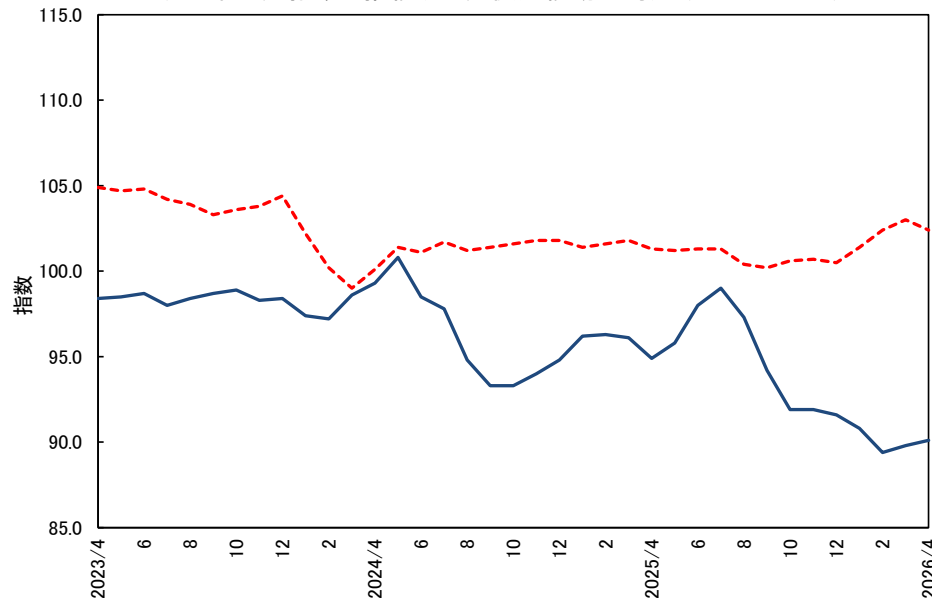
＜4月＞	
季節調整済指数	
北海道（速報）	89.6（前月比▲ 2.9%）
全国（速報）	102.8（前月比+ 0.8%）

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
低下 4業種	金属製品工業	▲ 36.3	▲ 19.5	建設用金属製品
	一般機械工業	▲ 17.0	▲ 6.4	一般機械
	電気機械工業	▲ 10.8	▲ 3.5	電子部品
上昇 9業種	化学・石油石炭製品工業	+ 29.7	+ 8.9	化学・石油石炭製品

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



■ 前年同月比(北海道,原指数) ● 季調済指数(北海道) ▲ 季調済指数(全国)

— 季調済指数(北海道) - - - 季調済指数(全国)

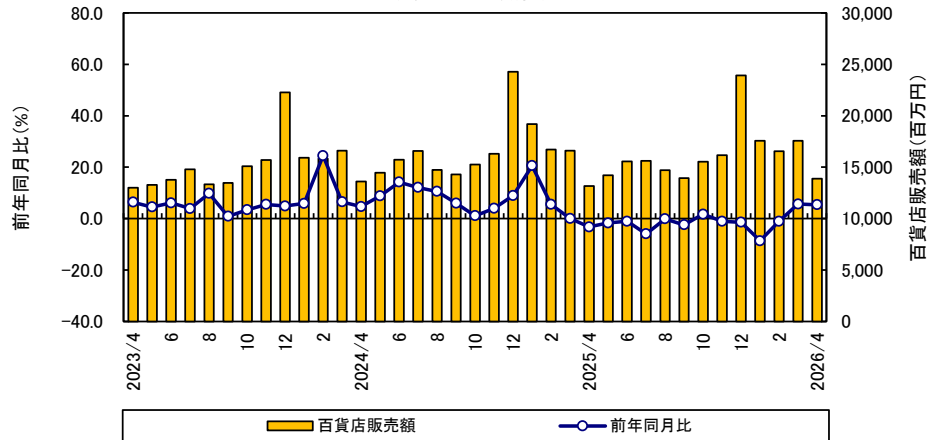
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

4月の個人消費は、全ての業態が前年を上回った。

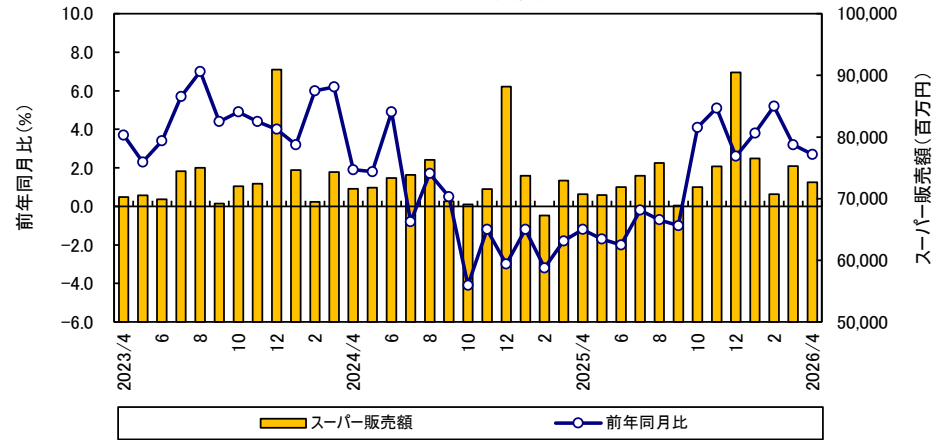
- 百貨店は、インバウンド客に高級ブランドの商品や化粧品などが好調で、前年同月比+5.4%と2か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、特売時の売上げが好調で、同+2.7%と7か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+2.1%と19か月連続で前年を上回った。

百貨店販売額推移



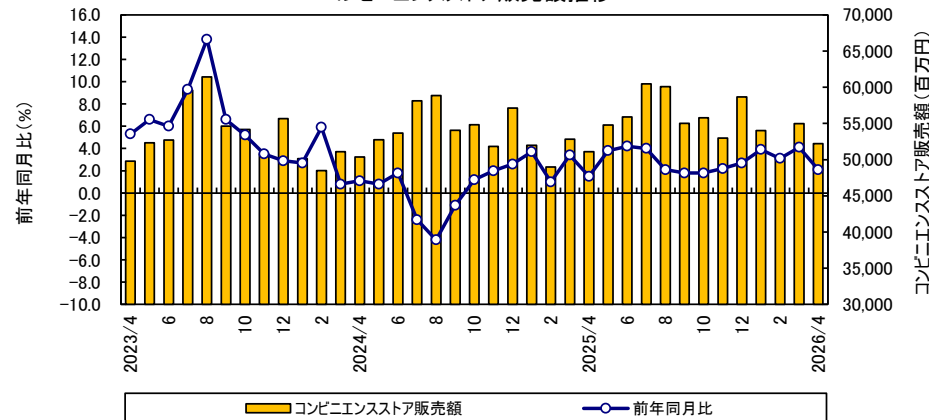
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

スーパー販売額推移



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

コンビニエンスストア販売額推移



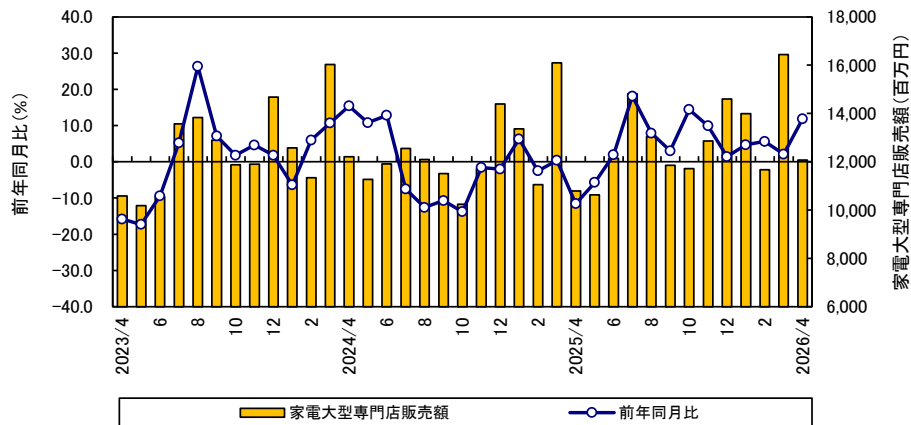
(資料：経済産業省)

【ヒアリング内容】

- インバウンド客については中国の訪日自粛の影響がみられるものの、円安傾向により高級ブランドの商品や化粧品などの売上げが好調だった。また、国内客については催事が好調だったことから全体の売上げ、客数は前年を上回った。(百貨店)
- 特売時の売上げが好調で、全体の売上げは前年を上回った。中東情勢への先行き不透明感や価格高騰への懸念から、紙製品などの売上げが前年を上回った。(スーパー)
- 天候が良く前年よりも気温が高かったことから外出する人が多くなり全体の売上げ、客数は前年を上回った。一方、加熱式たばこで値上げ前の駆け込み需要があった前月の反動減がみられた。(コンビニエンスストア)

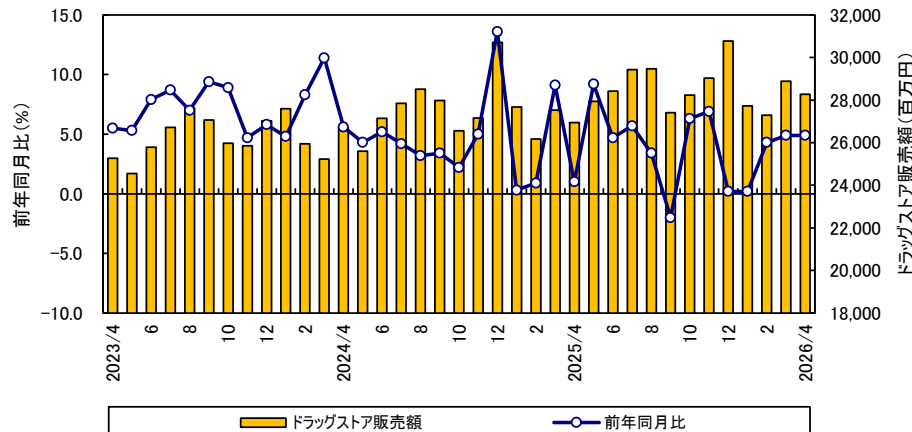
- ・家電大型専門店は、同+11.8%と11か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+4.9%と7か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+9.4%と5か月連続で前年を上回った。
- ・新車販売は、同+5.4%と4か月ぶりに前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



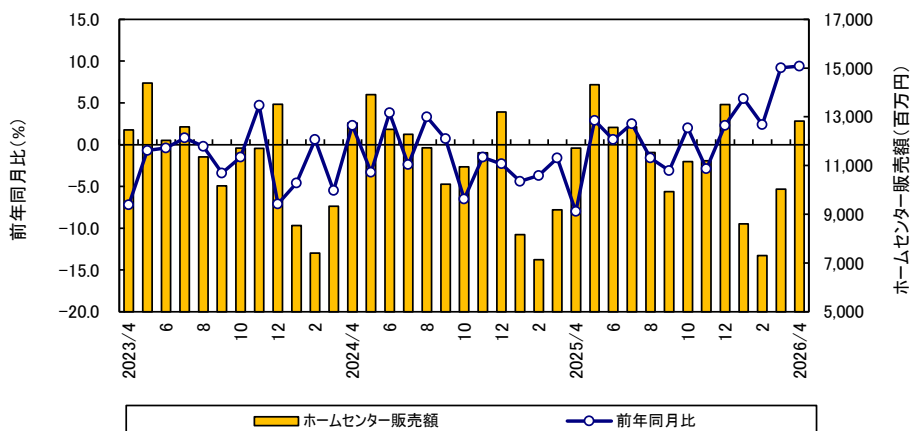
(資料：経済産業省)

ドラッグストア販売額推移



(資料：経済産業省)

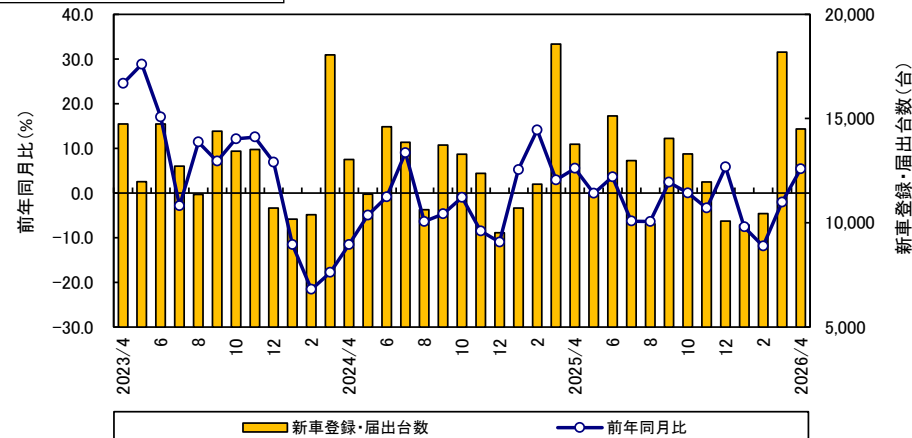
ホームセンター販売額推移



(資料：経済産業省)

<4月> 普通乗用車 ▲ 5.9%
小型乗用車 + 43.0%
軽自動車 ▲ 4.8%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

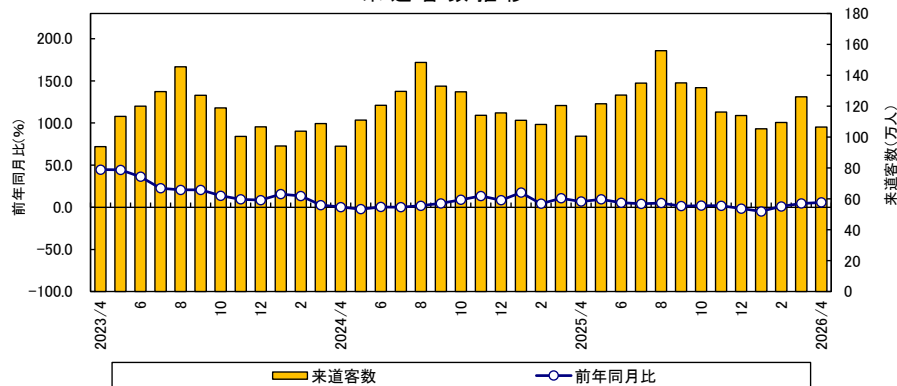
- ・2027年度の家庭用エアコンの省エネ基準の厳格化を見越した買い替え需要がみられたことからエアコンの売上げが好調だった。(家電大型専門店)
- ・天候が良く前年よりも気温が高かったことから日焼け止めなどの季節性商品の売上げが好調だった。(ドラッグストア)
- ・天候が良く前年よりも気温が高かったことから園芸用品など屋外で使用する商品の売上げが好調だった。また、重点支援地方交付金により市町村が発行している商品券の効果がみられ、売上げ、客数が前年を上回った。(ホームセンター)

観光 ～改善が続いている～

4月の来道客数は、前年同月比+5.9%と3か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+5.7%と46か月連続で前年を上回った。

<4月> 入国者数 116,550人(+5.7%)

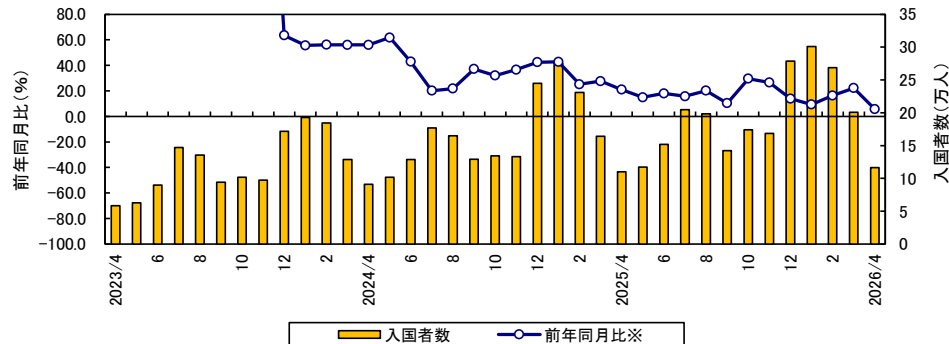
来道客数推移



<4月> 来道客数 1,064,087人(+5.9%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

道内外国人入国者数推移



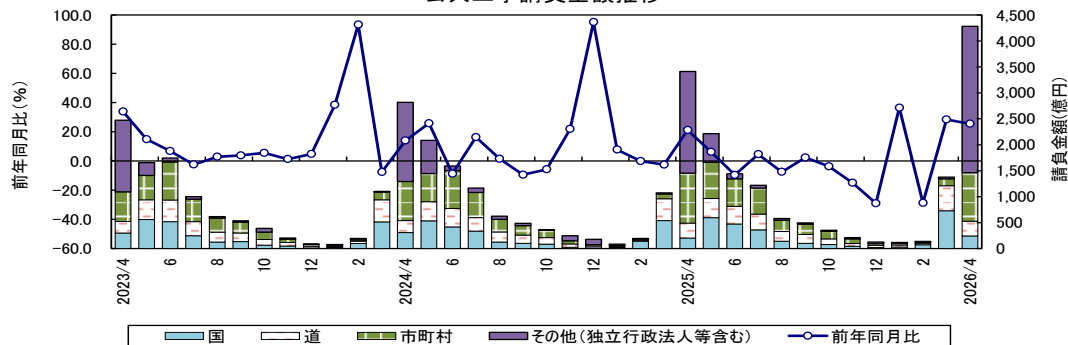
(資料：法務省) ※2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

- 国内客、インバウンド客とも好調で需要が増加しており、新たな宿泊施設が中心駅の徒歩圏内に建設中となっている。(観光協会)

公共工事 ～増加した～

4月の公共工事請負金額は、道、市町村は前年を下回ったものの、国、その他は前年を上回り、前年同月比+25.5%と2か月連続で前年を上回った。

公共工事請負金額推移



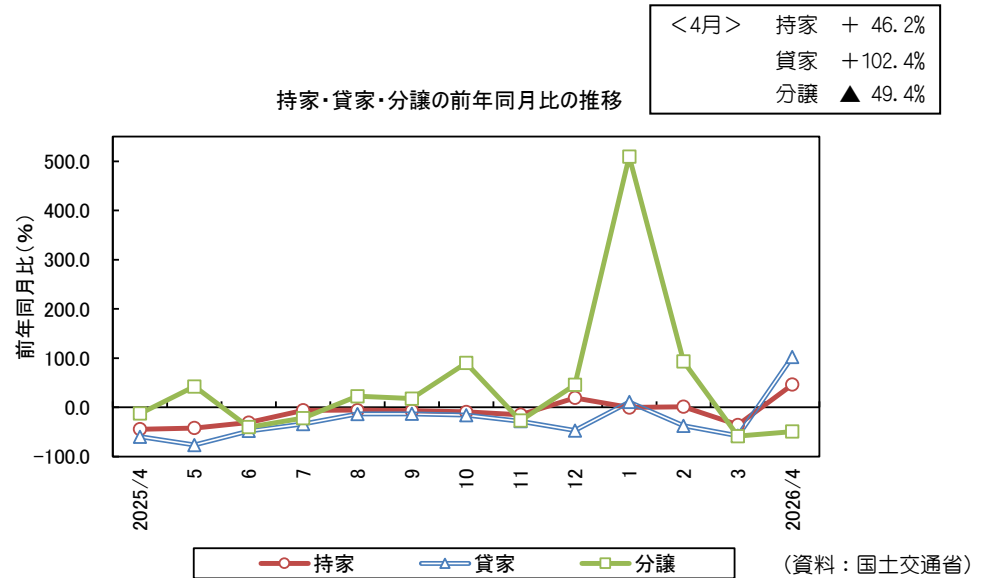
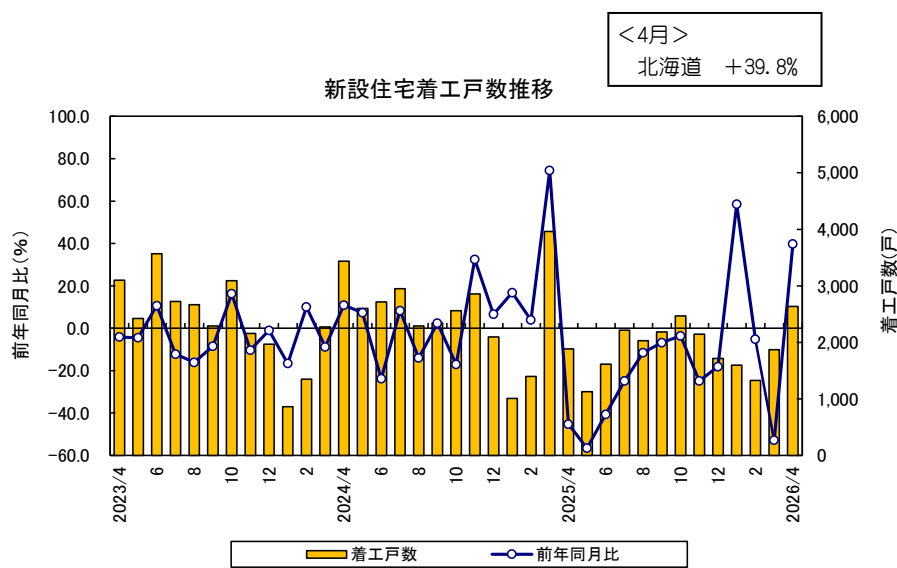
<4月>
 北海道 +25.5%
 (内訳)
 国 +20.1% 道 ▲1.5% 市町村 ▲3.0% その他 +44.0%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ~ 弱含んでいる ~

4月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を下回ったが、持家、貸家で前年を上回り、前年同月比+39.8%と3か月ぶりに前年を上回った。



民間設備投資 ~ 減少している ~

2026年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲11.2%と5年ぶりに前年度を下回った。

日銀短観の設備投資動向

2026年4月1日発表

	2025年度	2026年度
北海道	+ 14.0%	▲ 11.2%
製造業	+ 21.0%	▲ 1.9%
非製造業	+ 10.6%	▲ 16.1%
全国	+ 7.9%	+ 1.3%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行、日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2026年6月11日発表

	2025年度	2026年度
全産業	+ 28.0%	▲ 1.7%
製造業	+ 18.9%	▲ 8.3%
非製造業	+ 31.6%	+ 1.0%

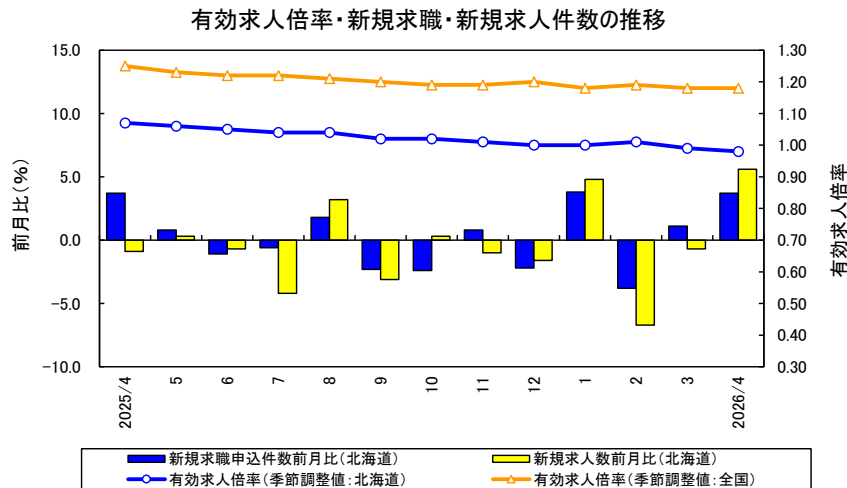
※数値は対前年比増減率。

※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

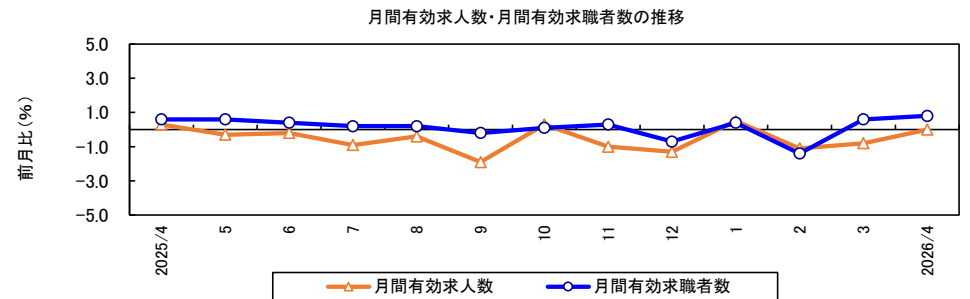
雇用動向 ～ 有効求人倍率は2か月連続で前月を下回った～

4月の有効求人倍率は、0.98倍と前月差0.01ポイント低下し、2か月連続で前月を下回った。※2026年6月発表から就業地別・季節調整値に変更。



<4月>	
北海道	有効求人倍率(季節調整値) 0.98倍
	新規求人件数(前月比) + 5.6%
	新規求職申込件数(前月比) + 3.7%
全国	有効求人倍率(季節調整値) 1.18倍

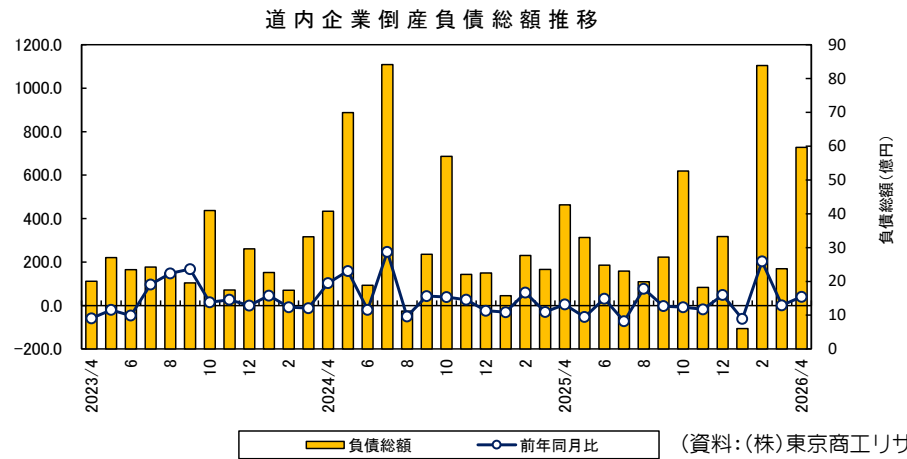
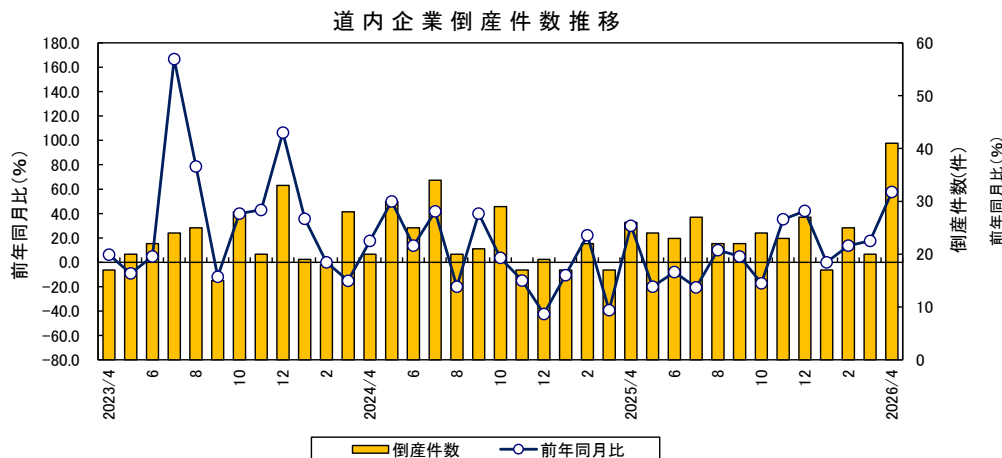
<4月>	
月間有効求人人数(前月比)	▲ 0.0%
月間有効求職者数(前月比)	+ 0.8%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した～

4月の倒産件数は41件で、前年同月比+57.7% (15件増) と3か月連続で前年を上回った。また、負債総額は59.7億円で、同+40.0%と3か月連続で前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)